

新宿ターミナル協議会（第5回） 議事録

1. 日時・場所

平成 28 年 11 月 21 日（月）10 時半～12 時，都庁第二本庁舎 31 階 特別会議室 22

2. 出席者

別紙 参加者名簿のとおり

3. 議題

- (1) 高精度測位社会プロジェクト 実証実験について
- (2) 配布用マップの試験提供実施計画について
- (3) 障害者団体との現地調査の実施報告

4. 配布資料

- ・ 議事次第
- ・ 資料 1 平成 28 年度高精度測位社会プロジェクト
屋内外シームレス測位サービス実証実験グループ・検討状況報告
- ・ 資料 2 配布用マップの試験提供実施計画（案）
- ・ 資料 3 障害者団体との現地調査の実施報告
- ・ 参考資料 第 4 回新宿ターミナル協議会議事録

5. 挨拶

[座長 岸井隆幸教授]

第 5 回目のターミナル協議会となりました。去る 3 月に基本ルールを制定し、10 月には一部試験的にサインを設置し、ご利用いただいているという状況かと思えます。今日は、これからの本格的な設置、あるいは新しい ICT の利用、さらにはマップの配布について具体的にご議論いただきたいと思います。これまで大変多くの方々にご協力いただき大変いい方向に進んできていると思っています。こうした動きは渋谷や池袋などにも展開しておりまして、都内の主要ターミナルが同じような方向へ向かっていくというなかで、先端を走る良い協議会であると考えています。設置に際しましては個別に議論をしなくてはならないことが出てまいりますので、その節にもぜひご協力いただき、よろしくご理解賜りますようお願い申し上げます。

6. 意見交換

(国土交通省国土政策局国土情報課・株式会社 NTT データより資料説明 資料1)

赤瀬専門アドバイザー： 資料 P4 の目的(2)「訪日外国人・障がい者等を考慮した要件整理」に関連して質問をします。国土交通省総合政策局で移動円滑化の基準見直しの議論が始まっています。来年度には基準やガイドラインを直していくという議論があるわけですが、最も大きい課題としてエレベーターと多機能トイレが柱としてあります。先ほど、障害者などを考慮した要件整理ということで、段差について対応できるようなコンテンツをつくるというご説明でしたが、それはエレベーターを利用した移動経路の案内であると理解してよろしいのかどうかをお伺いしたいと思います。二つ目に、移動経路の目的地として、多機能トイレの位置が設定されるのかということをお伺いしたいと思います。

国土交通省国土政策局国土情報課： ご指摘の通りエレベーターを使う経路です。また、多機能トイレも目的地となります。

赤瀬専門アドバイザー： 具体的なかたちや絵は次のステップとしてあるのですが、今日は早すぎるのかもしれないので質問は控えておきます。ありがとうございました。

岸井隆幸座長： P13 で地図を整備する範囲が示されていますが、地上部の北の方は歩道がはみ出ている、またバス停が含まれていなかったりということがありますが大丈夫なのでしょうか。

株式会社 NTT データ： のりしろといいますか、屋内に重なるバスターミナルやタクシーのりばは地図に含まれます。

岸井隆幸座長： そこまでは地図に入っているという理解ですね。具体的にビーコンを付ける位置も調整済みでしょうか。

株式会社 NTT データ： 地権者様と調整をし、ほぼ確定しています。

岸井隆幸座長： 東京駅では、去年のビーコンを使っているのでしょうか。増減はありますか。

株式会社 NTT データ： いくつか追加で設置をしていますが、それ以外は去年のものを使っています。

岸井隆幸座長： 実際の運用時に今のビーコンを使うかどうかはまだ検討中ということでしょうか。

株式会社 NTT データ： これからの議論となります。

赤瀬専門アドバイザー： 訪日外国人の方々への情報提供という点ですが、このコンテンツの表現様式、言語やピクトグラムについての見直しをお聞かせください。

国土交通省国土政策局国土情報課： 今年度は英語版を作成します。それ以外の言語につきましては新宿ターミナル協議会に倣ったものを作成するか検討をします。

岸井隆幸座長： とりあえず今年は英語版のみということでしょうか。表現は同

じものを使っただけのことで、よろしくお願いします。マップにおける「西口広場」といった場所をくり表現は今回出てくるのでしょうか。

都市整備局都市基盤部交通プロジェクト担当課長（事務局）： 今回につきましては、現地にまだ結節空間を示す同定サインが設置されていないので、今回の内容では表現されません。

岸井隆幸座長： 事前にビーコンの設置等、調整がされているようですが他にご意見ないでしょうか。今回の実証実験の結果を次回ご報告いただけるということですね。

都市整備局都市基盤部交通プロジェクト担当課長（事務局）： 実証実験期間は2月末までなので、結果をまとめて改めてご報告させていただきます。

岸井隆幸座長： PRはどのようにするのでしょうか。関心の高い人が参加するということになるのか、意図的にボランティアを集めてご参加いただくということになるのでしょうか。

国土交通省国土政策局国土情報課： 記者発表などを行いまして、皆様に広く使っていただけるようにしたいと思いますし、委員になられている事業者様にも使っていただけるようにと思います。新宿駅は12月後半からです。

岸井隆幸座長： 我々もダウンロードすれば使えるということですね。ぜひ皆様に使用していただいて、意見交換をできればと思います。

赤瀬専門アドバイザー： エレベーターを使用した場合の移動ルートの設定は、都市整備局と調整をされて設定するという理解でよろしいでしょうか。

株式会社NTTデータ： 地権者様から「このエレベーターは利用していい」といったご判断がいくつかありまして、そうした調整はさせていただいております。実際のナビゲーションではシステム上での最短経路というかたちで、実態にあわせて案内させていただくということになります。使ってだめな部分、通ってはいけない部分というのは調整させていただきます。

都市整備局都市基盤部交通プロジェクト担当課長（事務局）： 補足ですが、昨年度末に基本ルールを定めた際に、バリアフリーの案内誘導のためのサブシステムをこれから検討するという事としてしています。その際に、どういう案内がよいのかということが大変申し訳ないですが我々新宿ターミナル協議会としてアウトラインがかたまっていない部分がございます。今回のナビゲーションにおける案内誘導は、基本的にその場所から一番近い使用可能なエレベーターを案内させていただくこととなっております。

岸井隆幸座長： 最短距離経路ということですね。これは、来年度はどのようになっているのでしょうか。続けるとすれば、さらに深めていくということでしょうか。それとも別のことを行うのでしょうか。

国土交通省国土政策局国土情報課： とれるかどうかは未定ですが予算請求は行っております。視覚障害者の移動支援ですとか、災害時の誘導案内ですとか、深めていく

方向で検討しています。

岸井隆幸座長： 同定サインはいつ頃できるのでしょうか。

都市整備局都市基盤部交通プロジェクト担当課長(事務局)： 来年末には整うようなスケジュール感を事務局としてはもっております。来年度に各事業者の方々と具体的に調整させていただくこととなりますが、その頃には同定サインとして掲出できるように進めてまいりたいと思っております。

岸井隆幸座長： 同定サインの情報も当然入れておいたほうがいいのかと思います。今後のことを考慮すると、サービス事業者の方々に提供するときもそうした情報を含めておいたほうがよいかと思います。マップで出すサインシステムと連動する形でご案内いただくほうが、間違いがないと思います。

都市整備局都市基盤部交通プロジェクト担当課長(事務局)： そのように調整させていただきます。

(事務局より資料説明 資料2)

岸井隆幸座長： マップは何部配布するのでしょうか。

都市整備局都市基盤部交通プロジェクト担当課長(事務局)： トータルで1万部を想定しています。各社に1000部程わたるイメージで調整しています。

新宿区都市計画部(事務局)： 新宿区から宣伝とお願いがございます。P6の「案内所、スタッフによる配布」というところに新宿区観光案内所が記載されていますが、これは12月10日に新たにオープンするものです。新宿ターミナル協議会でも、観光案内所の設置というものが謳われており、新宿区として貢献するものと考えています。営業時間は10時から19時、定休日はなしです。対応言語は日本語と英語で、その他の言語についてはタブレット通訳にての対応を考えております。お願いについてですが、現在「地下」に描かれており、確かに甲州街道の下ではありますが、歩いている人にとっては「地上」であると思いますので、地上に変更いただけたらと思います。以上です。

岸井隆幸座長： 新宿区が新しくおつくりになる観光案内所の位置を、地下ではなく地上にしてほしいとのことですが、よろしいのでしょうか。実際に、地上か地下かということは使うのでしょうか。

都市整備局都市基盤部交通プロジェクト担当課長(事務局)： 現在「地下図」に記載しています。位置的に、甲州街道上かというところもありますし、事務局で調整をさせていただけたらと思います。

岸井隆幸座長： 表現方法は調整していただきたいと思います。新宿区として、観光案内所の設置は最初でしょうか。他にもあるのでしょうか。

新宿区都市計画部（事務局）： 初めての設置です。

株式会社ルミネ開発企画部（代理出席）： マップのルミネエスタのエレベーターの時間を記載いただいておりますが、弊社内で検討しましたところ、年に2回ほどお休みの日がございますことと、時間短縮の日もございますので、お客様に対して混乱を招いてしまうだろうということで、「ルミネエスタの営業時間内」ということで表記を修正いただけたらと思います。

都市整備局都市基盤部交通プロジェクト担当課長（事務局）： 表記につきまして、記載案を確認いただいて調整させていただければと思います。

岸井隆幸座長： 他にもそうした表現の箇所はありましたでしょうか。

都市整備局都市基盤部交通プロジェクト担当課長（事務局）： そこまで細かいということではないですが、例えば「中村屋」は時間を記載しています。メトロ様と協定を結んでいらっしゃるということで記載しています。「ヒューリック新宿ビル」も同様です。いくつか使える時間が限られています。また、補足ですが、今回各エレベーターにアルファベットを振らせていただいております。ご案内の際に活用していただいたり、目安として目標物のようにお使いいただいたりということを想定しています。こういったものを先ほど申し上げたバリアフリーのサブシステムでも実現できればと思っています。例えば先ほどのルミネエスタのエレベーターですと、「H」と振っており、試験的に活用いただけたらと思います。

都市整備局交通政策担当部長（事務局）： 地上と地下で同じアルファベットが振ってあることによって、どのエレベーターが接続しているのかがわかるようにしている点が今回の工夫です。また、出入り口の番号もすべて表記しまして、見やすくいたしました。情報量も以前より整理しています。

岸井隆幸座長： わかりました。先ほど PDF での提供の話が出ていましたが、他の会社の方でも使えるのでしょうか。

都市整備局都市基盤部交通プロジェクト担当課長（事務局）： 説明上、JR 東日本様のお名前をお出ししましたが、他社様からもリクエストがあれば当然配布をさせていただきますと思っています。

赤瀬専門アドバイザー： ターミナルマップの地下図のバスタ新宿付近のエレベーターにはアルファベット記号が入っていません。恐らく最後の調整で入れたものかと思いますが、このアルファベット記号の振り方については今日の案が最終案ではなく、今後も調整なさるという理解でよろしいでしょうか。

都市整備局都市基盤部交通プロジェクト担当課長（事務局）： 事務局でエレベーターについて調整させていただく際に、乗り換え等々でお使いいただくようなエレベーターを先ず中心に記載していこうということとしており、バスタの部分のエレベーターはそこで完結しているようなものでもあり、どうしようかと悩んでいた部分もございまして、最後ご指摘の通りとなってしまいました。この部分のアルファベット

についても、改めて事務局で調整をさせていただければと思います。

株式会社ルミネ開発企画部（代理出席）： バリアフリーの側面を考慮した際に、弊社のルミネエスト内のエレベーターにて1階で降りていただくと、扉が自動ドアではないので、バリアフリーという意味では必ずしもサービス上満足できていない部分もごございます。そういった点も考慮した上でのバリアフリーの案内ということとしていただきたいと思います。ご利用いただいた後にお客様から「これは利用しづらい」といったお声が出てきてしまう可能性もあるかと思っています。こういったマップを作ることにについては了解しておりますが、バリアフリーという側面で障害者の方々にとって本当にきちんとした動線になっているかという点については実証実験の中でご確認いただいてから、どのルート案内するかということを検討いただければと思います。また、当社のエレベーターはかなり利用頻度も多く、なかなか来ないといったこともございます。実際に実験の中でどれをどのように表現するかといったことについても調整いただければと思います。

都市整備局都市基盤部交通プロジェクト担当課長（事務局）： その点につきましては、昨年度から分科会等を通じて皆様方との意見交換の中で承知しております。「バリアフリールートとしてのルート案内」ではなく、皆様に「ここにエレベーターがある」ということをご案内させていただくということを基本に、進めさせていただければと思います。またもし今後、バリアフリー用のサブシステムを検討する際にルート表記が必要になる場合には、また各事業者様と調整し、表記してよいものかどうかという点については十分検討させていただきたいと思います。

岸井隆幸座長： すべてのエレベーターが掲載されているわけではないですよね。比較的乗り換えに利用されそうなものということでしょうか。

都市整備局都市基盤部交通プロジェクト担当課長（事務局）： 鉄道事業者様が整備されているエレベーター、または各鉄道事業者様が協定等を結ばれているエレベーターを記載するというを基本としております。

岸井隆幸座長： 利用者からは「ここにもあるじゃないか」といった声も出てきそうですね。

京王地下駐車場株式会社： 時間についてですが、京王新線地下通路の左側に多目的トイレが記載されておりますが、Fというエレベーター同様、通路の関係で23時から6時まで閉鎖されています。初終電に対応できる箇所は必要ないかと思いますが、初終電とは異なる時間制限のある箇所は、エレベーター同様に時間制限を記載したほうが親切かと思います。

赤瀬専門アドバイザー： 本論から外れる話で恐縮ですが、資料のP3に「だれでもトイレ」と表記されていますが、東京都もすでにこの呼び方はやめていて、基準上は「多機能トイレ」となっています。また、バリアフリーの議論上のことでいえばだれでも使ってしまうために、障害をお持ちの方が使いにくいという議論もあります。国

土交通省でも「多機能トイレ」と統一しているので、そのようになさったほうがよろしいかと思えます。

都市整備局都市基盤部交通プロジェクト担当課長(事務局)： 大変申し訳ございません。

今後表記についてはご指摘の通りに留意してまいりたいと思えます。

岸井隆幸座長： 他はいかがでしょうか。自社の部分はよくご覧いただき、表記上おかしいと思う部分については事務局にお伝えいただければと思えます。こうして進んでくると欲が出てきます。誰でも PDF でダウンロードできるよう、例えば新宿のホームページやアクセスしやすい場所が必要になってくるかもしれないですね。東京都の中にあるべきなのか、ややエリアマネジメント的になりますが別のものを立ち上げる等すれば便利になるかと思えます。

都市整備局都市基盤部交通プロジェクト担当課長(事務局)： 新宿区様のほうでも観光案内所を立ち上げてこれから充実させていこうということですので、共同事務局として、ご指摘を踏まえて検討させていただきたいと思えます。

(事務局より資料説明 資料3)

赤瀬専門アドバイザー： P4の下から2行目に「どこに行けば手話で案内してもらえるのかわからない」という聴覚障害者の方からのご意見がありますが、事務局としてはどこに行けば可能かということはおさえておられるのでしょうか。

都市整備局都市基盤部交通プロジェクト担当課長(事務局)： 各鉄道事業者の方々にきちんと確認するといったことにはまだ至っておりませんので、その点については確認させていただきたいと思えます。各案内所について、筆談での案内は可能ということは確認しております。このご意見は、かつて西口の交番には手話で対応できる警察官がいたそうなのですが今はそういうことではなくなってしまったということで、手話で対応可能な場所があればありがたいというお話でした。

岸井隆幸座長： 電車をお使いになって新宿まで来て車に乗り換える、または車で送ってもらう、車いす使用者で運転される方もいるかと思えますが、駐車場との関係は大丈夫でしょうか。

都市整備局都市基盤部交通プロジェクト担当課長(事務局)： 事務局として想定が不足していた点もありますので、各駐車場管理者の方々とご相談させていただいて、どういう形で説明していくか少し検討させていただきたいと思えます。

岸井隆幸座長： 道路保全公社がエスパークというネットワーク上の整備を行っているので、そこと連携するというのもありえるかもしれません。駐車場と鉄道との連携ということも多分に出てくることかと思えます。

赤瀬専門アドバイザー： P2に、都営大江戸線部分で「エレベーターを整備」とのこと

ですが、工程の目途について教えていただけますでしょうか。また、ルミネ1近くのエレベーターについても具体的に検討とありますが、いかがでしょうか。

都市整備局都市基盤部交通プロジェクト担当課長(事務局)： 左側の具体的に検討という部分については、京王電鉄様で設置の可能性について物理的な障害等がないかどうか調査をいただいていると伺っております。その調査が終わり次第、次の基本的な設計に進んでいただけるということです。整備時期につきましては、2019年を目標にしているとのことです。大江戸線部分につきましては交通局からお願いします。

東京都交通局(代理出席)： 新宿西口駅のエレベーターにつきましては、現在設計等を行っております、来年度中の供用開始を目途に進めさせていただいております。

岸井隆幸座長： 他にこの資料に記載されている視覚障害者誘導用ブロックの整備について、また「直近のバリアフリー設備を案内」というのは具体的に何のことでしょうか。

都市整備局都市基盤部交通プロジェクト担当課長(事務局)： 「視覚障害者誘導用ブロックの整備に向けて具体的に検討」というのはサブナード様の中に設置するという事で、検討いただいております。整備については来年度を目途にということで進めさせていただいております。「直近のバリアフリー設備を案内」というのは、先ほどから申し上げているサブシステムを検討する中でどのような案内をしていくか検討させていただきたいということです。

岸井隆幸座長： 今年、このようにマップの配布やICTを使った実験を行い、利用する方々のご意見をさらに反映してブラッシュアップすることになりますが、それが終われば実装ということになります。例えばビーコンの管理をどうするか、マップについてもPDFの配布や配布先の検討など本格的に行うことになります。有効的にそれらを使うためには、サインがしっかりと設置されている必要があるということになります。個別の空間で調整が必要ですが、ぜひご協力をお願いします。では、事務局から今後の予定について報告をお願いします。

都市整備局都市基盤部交通プロジェクト担当課長(事務局)： 資料3ですが、プライバシーに配慮した加工が写真になされていない部分もありますので、取扱いについてはご留意いただければと思います。公開時には加工させていただきます。今後の予定についてですが、ターミナルマップの配布は12月上旬からの予定ということになります。ナビゲーションシステムの実証実験については、12月下旬ということですが、クリスマス頃には開始をしたいという予定です。それぞれにつきまして、具体的な実施時期を調整させていただいて、今月中にプレスリリースを公表したいと思っております。それぞれ来年2月末まで実施し、アンケート等で得られた問題点や改善点をまとめて、次回協議会にてご報告させていただければと思います。また、サインの改善につきましては個別の調整を各管理者様とスタートさせていただいておりますので、そちらにつきましても、整備計画としてとりまとめたうえで、ご報

告させていただきますと考えております。

岸井隆幸座長： 東京都の予算としてはいつ頃までに決まるのでしょうか。

都市整備局都市基盤部交通プロジェクト担当課長（事務局）： すでに要望内容についてはプレスしており、今回の取組みに必要となる来年度の補助分は確保しております。

岸井隆幸座長： 他にはよろしいでしょうか。新しいシステムのご紹介、そしてアナログではありますが極めて便利なマップを用意いただいたということでした。来年度以降、順次実装をしていきますので、その都度様々なご意見をいただきながら進めていかれると思います。このメンバーで集まれる会合の数は限られていますので、途中途中でお気づきの点があれば、事務局にご連絡をいただいて個別に調整をさせていただきますということにしたいと思います。

都市整備局交通政策担当部長（事務局）： 大変長らくありがとうございました。先ほど申しあげました資料3の不手際は恐縮でございますが差し替えをさせていただきます。座長からお話がありましたが、ナビゲーションの実証実験、並びにマップの配布ですが、12月のお客様が大量集まる時期にご協力いただくということで大変ご迷惑をおかけすることとなりますが、逆に考えれば認知度を向上させるためのよい機会なのかと思います。どうぞ今後とも忌憚のないご意見をいただき、ご協力いただければと思います。以上をもちまして閉会とさせていただきます。

以上

新宿ターミナル協議会（第5回）

出席者名簿

	役職名	出欠
座長	岸井隆幸 日本大学大学院理工学研究科教授	出席
専門アドバイザー	赤瀬達三 株式会社黎デザイン総合計画研究所代表取締役	出席
委員	国土交通省関東地方整備局東京国道事務所長	代理
委員	東京都都市整備局都市基盤部長	欠席
委員	東京都都市整備局交通政策担当部長	出席
委員	東京都建設局道路保全担当部長	代理
委員	東京都交通局企画担当部長	代理
委員	新宿区都市計画部長	代理
委員	新宿区みどり土木部長	欠席
委員	東日本旅客鉄道株式会社東京支社総務部企画部長	欠席
委員	東京地下鉄株式会社鉄道本部鉄道統括部長	代理
委員	西武鉄道株式会社鉄道本部計画管理部長	出席
委員	京王電鉄株式会社鉄道営業部長	出席
委員	小田急電鉄株式会社交通企画サービス事業本部執行役員交通企画部長	代理
委員	株式会社ルミネ開発企画部長	代理
委員	新宿サブナード株式会社総務部開発推進担当部長	出席
委員	京王地下駐車場株式会社取締役事業部長	出席
委員	一般社団法人東京バス協会理事長	出席
委員	一般社団法人東京ハイヤー・タクシー協会専務理事	出席
委員	一般社団法人東京個人タクシー協会副会長	欠席
委員	公益財団法人東京タクシーセンター指導部長	出席
オブザーバー	国土交通省鉄道局都市鉄道政策課駅機能高度化推進室長	出席
オブザーバー	国土交通省都市局街路交通施設課街路事業調整官	代理
—	国土交通省国土政策局国土情報課	出席
—	株式会社NTT データ e-コミュニティ事業部第三営業担当	出席